

61年 6月 1日
創 刊 号
鳥 取 県
栽 培 漁 業 協 会

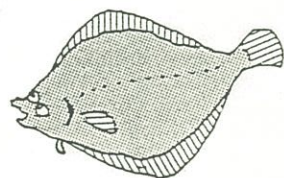
創刊にあたって

佐竹 嘉泰

このたび、栽培漁業協会が栽培関係広報紙「さいばいだより」を刊行することになりました。不振を続ける沿岸漁業のなかで、栽培漁業の必要性はよく理解されているものの、実行段階になると総論賛成、各論反対の底流があることは否定できません。そこで「さいばいだより」では、種苗生産から放流、回収までの情報をいち早く提供して、栽培漁業の主役である漁業者にアクションを起こす基礎として頂くほか、漁業者の意見を大きく取り上げて巾広い意見交換の場とすることを目的としております。本県の栽培漁業が益々定着することを念じながら且つこの「さいばいだより」が長く持続するよう御協力をお願いして御挨拶といたします。

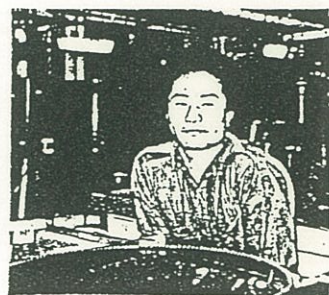
青年がヒラメ養殖に挑戦！

東漁協所属の青年がヒラメ養殖の事業化をめざして栽培漁業センターで研修中です。



この青年は、岩美町小羽尾の吉沢治美さん(27才)です。研修期間は4月から6月迄の3ヶ月間を予定しており只今奮闘中です。高校を卒業してから8年間はイカ漁に精を出してきましたが、不振のイカ漁に見切りをつけ、今年からヒラメ養殖事業をスタートさせたいと意欲を燃やし連日実習に励んでいます。

県内でのヒラメ養殖事業は初の試みでもあり、吉沢さんには是非とも成功してほしいものと期待しております。



本人の抱負

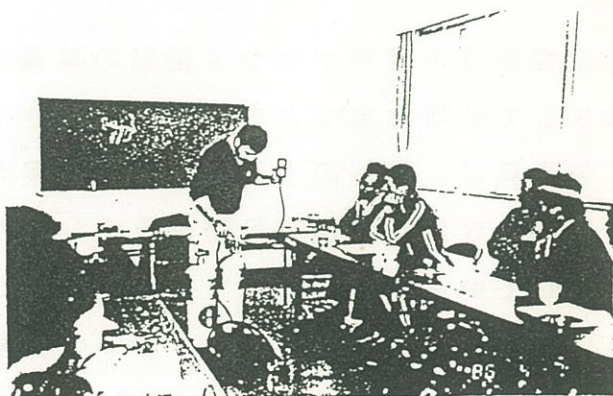
今までは、沖合イカ釣漁船を所有していましたが、年ごとのイカ資源の減少および経費の高騰の為、イカ漁に不安を感じて、ヒラメ養殖に転換を図りました。

当栽培漁業センターで3ヶ月間の研修を行っていますが、毎日が大変な仕事です。未だわからない事が多くありますが、もっと勉強して真剣にヒラメ養殖に取り組みたいです。

潜水の講習が センターでありました。

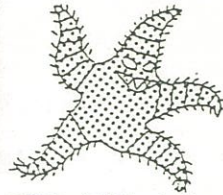
4月7日、県栽培漁業センターで泊、青谷、夏泊漁協の希望により、潜水の講習・訓練が行われました。参加者の態度は真剣そのもので、この様な姿勢が自分達の財産は自分達で守るという意識を生むことにつながってゆくと思います。

アワビを大きく育ててたくさんとるには上手な放流に始まり普段の管理が大切です。今年度から予定されていたアワビ種苗の有料化が





2年も延びました。この間に
上手に育てて獲る技術を身に
つけましょう。

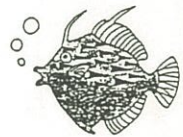


バイの種苗生産開始。

今年もバイ種苗生産用親貝の捕獲が弓浜，米子，淀江漁協の協力
で行われました。

美保湾のバイは親貝としてかなりの人気で県外からもひっぱりダコ
です。この特産品を絶やさないうよう，みんなで漁場の管理，資源の
保護をやって計画的な漁獲をしてゆきましょう。

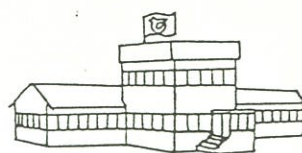
さかなのおはなし



今年もアゴを巻く風景の見られる季節となりました。

さて、このトビウオ、どの位飛べるか御存知ですか？なんと400m
を42秒かけて飛んだという記録があります。標準的な角アゴで
計算したところ、これにはまず、上に10m以上飛ぶ必要があるそ
うです。高さの記録では水面より10mの甲板に飛んだという話
があるので、まんざらウソではないかもしれません。トビウオが
これだけ飛べる秘密は大きな胸ビレ、長い浮袋、短い内臓など体
の極限の軽量化にあります。外敵から逃れるうちにそなわった
この機能は見逃せない進化のみょうりといえるでしょう。

センター情報



種苗放流情況

61年3月7日～4月2日（一部60年秋）に、平均殻長3.2～3.7cmのアワビ稚貝が放流されました。組合ごとの数量は下の通りです。

東 漁 協	5000ヶ	福部漁協	8000ヶ	青谷漁協	10000ヶ
浦富漁協	5000ヶ	夏泊漁協	10000ヶ	赤碕漁協	5000ヶ
田後漁協	5000ヶ	泊 漁 協	10000ヶ	中山漁協	10000ヶ
網代漁協	10000ヶ	中部漁協	20000ヶ	淀江漁協	10000ヶ

種苗生産情況

- ヒラメ : 5～17mm稚魚約300万尾飼育中
アワビ : 10mm以上稚貝24万個籠飼育,他20万個波板飼育中
バ イ : 採卵用親貝8500ヶ養成中

*** 編集部からのお知らせ ***

この小冊子「さいばいだより」は漁業者のつくる情報紙です。あなたの声をどんどんお寄せ下さい。

普段から不思議に思っていること、もっと知りたいこと、また、あなたのするどい意見などなんでもけっこうです。

投稿先は〒 689-06 鳥取県東伯郡泊村石脇

TEL 0858-34-3321,3322

鳥取県栽培漁業協会「さいばいだより」編集部まで